

2025年度 教育計画

教科	家庭	単位数	前期 2	後期 2
科目	家庭総合	スクーリング(時間)	前期 4	後期 4
科目の目標	①レポート作成を通じて自分の生活に関心を持ち、その充実向上ができるよう丁寧な添削に努める。 ②スクーリングは、レポートに即した教材・教具を充実させ、個々に応じた学習支援に努める。			
教科書	家庭総合 自立・共生・創造(東京書籍701)	学習書	なし	
副教材	なし	その他教材	なし	

学期	月	項 目	内 容	スクーリング				テ ス ト	レポ ー ト	
				本校	都城	小林	日南		回数	日
前期	4	生涯を見通す 人生をつくる	自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。	7 28	27					
	5	食生活をつくる	よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。また栄養素の特質や安全で衛生的な食生活を営むために必要な知識を身につける。	18 29	25		25		第1回	14
	6			9 15 29	8	22	22		第2回 第3回	4 25
	7	経済生活を営む 持続可能な生活を営む	自立した責任ある消費者としてよりよい意志決定ができるようさまざまな契約や支払い方法などについて理解する。 持続可能な消費や生活について理解し、実践しようとする。	7	20	20	6		第4回	23
	8	前期テスト	前期テストは下記の範囲を中心に出题します。 ＊前期レポート第1回～4回、テスト対策プリント							
	9	前期テスト			29	29		1 8		
後期	10	子どもと共に育つ	子どもの心身の発達や、子どもが健康で安全に育つ環境を整えられるようになるために子どもの生活習慣や衣食住について理解する。	6 14 28	27	13	13		第1回	15
	11	衣生活をつくる	被服の材料や加工について理解し、手持ちの被服を長期にわたり着用できるよう管理や手入れの工夫について理解する。また基本的な手縫いの技術を身につける。	3 11 17 25	10	10	24		第2回 第3回	5 26
	12	住生活をつくる 共に生き、共に支える ホームプロジェクト	日本のさまざまな住文化について理解し、自らの住生活に生かせるよう防災、換気など、快適で安全な生活環境について理解する。 加齢に伴う心身の変化について理解し、高齢者の自立を支えるための適切な関わり方を考える。 自己の生活上の課題を設定し、計画をたてて実践する。	1 15 23	22	8	8			
	1	後期テスト	後期テストは下記の範囲を中心に出题します。 ＊後期第1回～4回、テスト対策プリント	5					第4回	7
								2 9		
	2									
	3									